

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立南大江小	学校	児童数	167
----------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.91	18.89	33.76	39.03	41.92	9.66	140.49	20.25	49.93
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.10	18.98	40.08	38.91	35.12	9.87	134.67	12.06	53.16
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子、女子の結果ともに体力合計点の平均値が大阪市、全国の数値を下回る結果となった。男子の結果では長座体前屈の結果において大阪市の平均値をわずかに上回ったもののすべての調査項目において全国平均を下回っている。女子の結果では上体起こし、長座体前屈、反復横跳びにおいて全国平均を上回り、20mシャトルランにおいて大阪市平均を上回ったが体力合計点においては全国平均、大阪市平均を下回る結果となった。

質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」において、「好き」と答える児童が男子においては60.5%、女子では57.5%となった。これは全国との比較において男子は12.5%下回り、女子では2.7%上回る結果であった。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は男子において8.2%、女子において17.8%であり、男子は全国平均をわずかに下回り、女子は上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の児童の運動に関わる環境として挙げられることは、児童数の増加傾向が10年以上続いており、これと反比例して運動場や体育館の使用を制限せざるを得ないことである。休み時間などは学年を決めて運動場や体育館の使用しており、児童数と安全面を考慮するとやむを得ない状況が続いている。

今年度の本校の調査結果を見ると制限付きの運動環境ではあるものの、女子はいくつかの項目で全国平均を上回るなど運動能力の向上が見られるところもあり、その要因として最も注目しているのは上記にも記した質問項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」である。体を動かしたり、スポーツに親しむ意欲の高さは生涯スポーツの観点からも重要であると考えている。このことが、運動能力を示す様々な数値にも影響があると考えており、また能力としての数値以上に生涯にわたって児童らが健康に過ごす上でも大事な視点である。本校では、まずは運動に親しむ意欲の喚起に努める取り組みを重点的に行っていきたい。一例として外部講師による出前授業など、専門的かつ普段とは異なる指導者による授業も積極的に行っていきたいと考えている。